



## Vol.3 ハウスめぐり編

2019.04.15

育苗センター内の出芽室に保管された苗箱から順調に出芽し、次は生育するために苗箱をトラックで育苗用ビニールハウスへと運びます。運んだ苗箱は職員が手作業でハウス内へ並べ、田植えが出来る状態まで大切に育てられます。

**ハウスめぐり** (苗箱ならべ) は、苗箱を1日に何千枚も手作業で並べるため、たくさんの人手が必要となります。JA全職員が当番制で出陣し、対応します。大変な力仕事ですが、女性職員も一丸となり頑張っており、苗箱を運びます。苗箱は育苗センターからハウスまでトラックでピストン輸送し、運ばれた苗箱をハウス内におろして並べます。

今年の4月は例年より気温が低い日が多いですが、ハウス内は非常に蒸し暑く、吹き出る汗を拭きながらの作業でとても大変です。熱中症に気をつけ、しっかり水分補給しながら職員一同頑張っています。

苗箱をハウス内一面に並べ終わったら、ハウス内のスプリンクラーで30分しっかりと水やりをします。

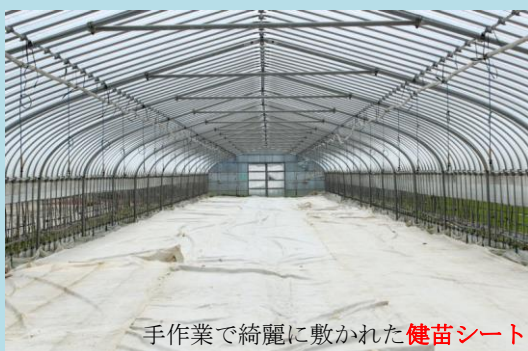
その後、苗箱に白いシート (**健苗シート**) を全面に敷きます。これも手作業なので健苗シート敷きも大変です。健苗シートは、太陽光を遮断することにより苗焼けを防ぎ、保温効果によって苗の成長を助ける効果があります。ただの白いシートなのですが、良い苗づくりに健苗シートは欠かせません！数日後には、健苗シートをめくると**緑化苗**に成長し、引き続きハウス内で育てます。苗の引き渡しまでもう少しかかります。



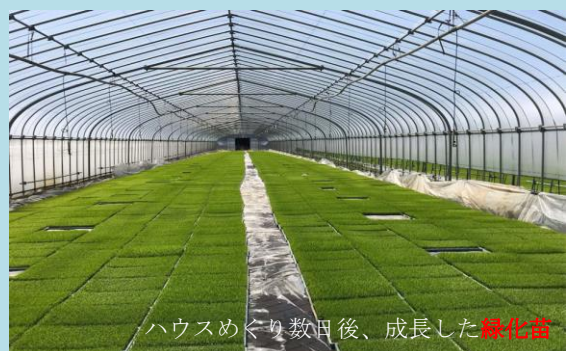
トラックで運ばれてきた苗箱



トラックから苗箱を運ぶ職員



手作業で綺麗に敷かれた**健苗シート**



ハウスめぐり数日後、成長した**緑化苗**